

2022年4月17日 午前礼拝
「復活祭」 説教:大木英雄牧師

【引用聖句】使徒 9:1~5

- 1 さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、
- 2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。
- 3 ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。
- 4 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか」という声を聞いた。
- 5 彼が、「主よ。あなたはどなたですか」と言うと、お答えがあった。わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

【説教要約】

復活祭とはイエス様が死人の中から三日目に蘇られたことを喜ぶお祭りのことです。子供のころはお祭りに行けばおいしいものを買ってもらって喜びがありました。クリスチャンはイエス様が死人の中から三日目に蘇られたことを信じていますが、喜んでいる人は少ないと思います。

(A)救いの喜び

それから自分が救われたことを喜んでいる人も少ないと思います。宣教師のニール先生はアメリカ人で海兵隊員として日本に来ました。海兵隊の中でも礼拝があり、メッセージを通してイエス様を信じて救われました。アメリカに帰り両親に「私は救われました」と言ったら、両親はニール先生は海兵隊員でしたから、「海に落ちておぼれているところを海から救われたのか」と尋ねたそうです。救いとは罪からの救いのことです。

罪とは

Iヨハネ 3:4, 罪を犯している者はみな、不法を行なっているのです。罪とは律法に逆らうことなのです。

罪とは律法に従わないことです。

律法は613個もありますがイエス様がそれを2個にまとめてくださいました。

マタイ 22:37, そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』

マタイ 22:39, 『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。

あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。どこの母親でも自分の子供を愛しています、しかし家内に言わせると母親の愛は自分の願望を押し付けてくる愛だそうです。夫婦は愛し合って結婚しますが、アメリカでは2組に1組が離婚しています。日本でも3組に1組は離婚しています。人間はすべて自己中心ですから自分の考えと違う人を愛することはむづかしいのです。

私は思考型で家内は感情型です。思考型の人と感情型の人を愛することはむづかしいのです。感情型の人には昨日の基準と今日の基準は違うのです。昨日うまく行ったことを今日やってもうまく行かないのです。基準がその日によって変わるのです。私は何を言いたいのか

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」を守ることは、むづかしいということを知ってほしいのです。

ローマ 3:23, **すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません、**

全ての人は罪人だということを知ってほしいのです。アインシュタインのような物理学者も離婚しました。リンカーンのように奴隷解放のために南北戦争まで起こした立派な人も忙しくて夫婦の時間が持てないので、奥様はリンカーンを尊敬していなかったそうです。

ローマ 3:23, **すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません、**
ヘブル 9:27, **そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定められているように、**

全ての人は死後神様から罪の裁きを受けるのです。この神様の裁きから救われる方法は人間にはないということです。それはどんなに愛の人でも

マタイ 22:39, 『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。

を守ることが出来ないからです、罪人が救われる方法はただ一つ

ローマ 5:8, **しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。**

神様は私たちが受けるべき神様の裁きを、ご自分の御子を十字架の上で身代わりとして裁かれたのです。キリストの十字架の死は私の罪の裁きの身代わりであったと信じるだけで神様の裁きから救われるのです。神様の愛以外に私たちが救われる方法はないのです。神様は私のような罪びとを愛してご自分の御子を十字架の上で犠牲にされたのです。

Iヨハネ 4:7, **愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。**
神様の愛以外に私たち罪びとが救われる方法はないのです。愛は神から出ているのです。

(B) イエス様が神の御子であることの証明

ローマ 1:4, 聖い御霊によれば、死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。

神様はイエス様を死人の中から蘇らせることによって、イエス様が神の御子であることを証明されました。すごい証明方法です。死ぬということは心臓が止まることです、肺も止まり肺から酸素が細胞に送られないということです。死んで1,2分後ですと人工呼吸で生き返らせることが出来ますが、死んで3日もたってから生き返らせることは神様にしかできません。

私は神様が愛の方だとは信じていましたが、死んで三日もたったイエス様をよみがえらせたことは信じられませんでした。10年近くも毎週礼拝に出席してメッセージを聞いていました。しかしイエス様が死んで三日もたってから蘇ったことは信じられませんでした。

ところが私よりもイエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを信じていない人がいたのです、その人の名はパウロです。パウロはイエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを信じているクリスチャンを殺していたのです。パウロはパリサイ人です、パリサイ人は律法をきちんと守っている人です。

出エジプト記 20:10, しかし七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはどんな仕事もしてはならない。…あなたも、あなたの息子、娘、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、また、あなたの町囲みの中にいる在留異国人も。…

どんな仕事もしてはならない。パリサイ人は安息日にしてはならない仕事を39個も決めて守っていたのです。例えば安息日に病人を直してはいけない等。ところがクリスチャンはイエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを信じれば救われると教えているのです。そしてクリスチャンの数が爆発的に増えているのです。

このまま行くと、パリサイ人になりたいという人はいなくなってしまうのではないかと心配したのです。パリサイ派の教えを守るためには、イエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを信じているクリスチャンを殺してしまえばよいと考えて、そして実行したのです。

使徒 9:1, さてパウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、

使徒 9:2, ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。

パウロはダマスコまでクリスチャンを殺すために追いかけてきたのです。ダマスコはガラヤ湖の北50キロほど離れた所です。50キロと言いますと東京から千葉まであります。パウロは大祭司からクリスチャンを殺してもよいという許可証をもらっているのです、大祭司はもちろんパリサイ派の人です。

パウロにイエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを宣べ伝えることのできる人がいますか。私が和歌山の姉にイエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを宣べ伝えたら、馬鹿にされます。しかしパウロにイエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを宣べ伝えたら殺されます。パウロに宣べ伝えることは不可能ではありませんか。

使徒 9:4, 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」という声を聞いた。

しかしイエス様は「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか」と声をかけられただけです。

使徒 9:5, 彼が、「主よ。あなたはどなたですか。」と言うと、お答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

「わたしはあなたが迫害しているイエスである」死人の中から三日目に蘇られたイエス様御自身がパウロに会ってくださったのです。これ以上の証拠があるでしょうか。

パウロは

ローマ 10:9, なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

パウロは死人の中から三日目に蘇られたイエス様にお会いしたのです。お会いするまでイエス様が死人の中から三日目に蘇ったことを信じているクリスチャンを殺していたのです。そのパウロが、「イエス様が死人の中から三日目に蘇ったと信じるなら救われる」と宣べ伝えているのです。これ以上確かな証拠があるでしょうか。

私の姉はイエス様が死人の中から三日目に蘇られたことを信じないと思います。また葛西教会の役員の弟さんもイエス様が死人の中から三日目に蘇られたことを信じることはむづかしいと思います。パウロにイエス様が死人の中から三日目に蘇った事を宣べ伝えるのとどちらが難しいでしょうか。

神様がパウロの心を開いて信じるようにしてくださいました。だったら私の姉の心も開いてくださると信じます。役員の弟さんの心を開いてくださると信じます。

Iヨハネ 4:7, 愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。

愛は神から出ているのです。祈りましょう。